



第726号

令和7年12月23日

題字は二代真柱様

大阪市北区池田町13-17

天理教はるのひ分教会

TEL・FAX

06-6358-2630

晴気ぐらしへ学びと試み

はるのひ館



▶はるのひホームページ▶
141226回ロー・朝聖堂09◀聖蹟室館新



心の成人をめざして

「よろこび・つつしみ・はたらき」

『路傍講演②』

ここ、大阪はなんば高島屋の前をご通行中の皆さん、私たちは天理教の布教隊です。

令和八年一月に【教祖（おやさま）百四十年祭】を迎えるまでの三年千日の期間中

大阪教区三十三支部が当地において、毎日順繰りに午前十時から「神名流し」と「路傍講演」を展開しています。

今年の明るいビッグニュースとして、二人の方が生理学・医学部門と化学部門でそれぞれノーベル賞に輝きました。

私たち日本人にとってノーベル賞は毎年のように話題にのぼる出来事ですが、よく考えると実は

世界的には大変なことなのではないでしょうか？しかも、今年は部門を別にして二人も受賞されたのですから。

さらに考えると、長年努力を積んで新しい発見や発明にこぎ寄せる人も確かに称賛に値しますが

研究すればするほどにまた新しい真実をそのつど開示するこの世界の何と幅広く奥深いことでしょうか？!

研究者は異口同音に、「発見したと思ってもその奥にまた未知が顔をのぞかせている」と言います。

宇宙のエネルギーも物質も、科学が発達を遂げてきた現代でも分かっているのはわずか5%ほど

あとはまったく不明で、ダークⅡ暗いとしか言いようがないそうです。

粘り強く探求を続けることは大切で尊く人類の使命、課題に違いありませんが

他方、うちゅう・せかい・いのちのまた何と果てしなく広く永くそして深いことでしょう。

うちゅう・せかい・いのちの広さ・永さ・深さに日々神秘を感じ、畏敬・畏怖・感動を覚え

ほとんどが謎に包まれたまま、それでもいつの間にか生かされていることに謙虚と感謝をささげたいと思います。

シリーズ

『詰所・ほつぎゅう雑記⑫』

芝 光男

迎春

昨年は大変お世話になりました。
今年はいよいよおやさ新四十年祭
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

おやさまひながたの道とその教えは
せかいに
みらいに
是非必要です
いつそそうお慕いしつつ
学びと試みと広めに努めます

立教一八九年・令和八年元旦



月報での年賀状です。

よろしく願っています。

きます。

この本の最後には、「太七初代会長と中山慶一先生との対談」が載せられています。

この中で、中山先生が、初代会長に「あなたは『誠』についてどう悟っておられますか?」と質問されているところがあります。

初代会長はつぎのように答えておられます。

『誠』というのは、「施した真実」だと悟らせてもらっているんです。私たちが物事を判断するときには、常識で考える範囲でしか判断できないんですね。たとえば、一尺のものさしで机の長さは計れますけどね、それで太平洋の大きさを計れといわれても、無理なこと言うな、ということになりますね。

私たちのものさしで計れるあいだは「誠」じゃないと

思います。私たちには常識の寸法があります。ところが、ご教祖は私たちの常識の寸法では計れません。教祖がおられた時代も、金もうけをしたらエライというていた時代ですね。その時代に、素う裸になって、人に施してばかりおられた。常識の寸法では計れないですね。一尺のものさしで太平洋の大きさを計るようなのが教祖の「誠」だったと思いますね。自分が食べたお粥でも、物乞いに来た人に、「ああ、気の毒に、私は腹をへらしてもこの人に食べさせてあげよう」というふうにおつしやつて与えられたこと、そんなことは私たちの常識ではありませんでしょう。教祖の御行動は、私たちの寸法では計れませんね。計れないから「キツネつき」などと言われたんですね。「誠」と教えて下さっているのは、そういう「施した真実」のことをおつしやつておられるんだと思うんですね。

教祖は施してばかり、「誠」ばかりですもんね。」

さらに、続いて、

「『誠一つが天の理』とおつしやつておられますが、信実を出す、誠を出すことが天理にかなうことなんでしょうね。それでどんな御守護も頂ける。」

と結んでおられます。

みなさんは、「誠」について、どう思われますか？



中山氏

芝氏

☆お知らせ☆

☆ 12月26日(金) 9時 本部・本年納めの月次祭

☆ 12月28日(日) 10時 もちつき(教会にて)

☆ 12月29日(月) 18時 納めの詰所祭

★ 1月1日(木・祝) 11時 元旦祭

(例年通り、おつとめとご神言です。食事会はありません)

★ 1月5日(月) 本部おせち参拝・女子初例会

(車は教会を9時出発、詰所10時集合)

☆ 1月11日(日) 別席日

※別席場受付は、①午前8時～9時半 ②正午～13時半

☆ 1月11日(日) 9時半 おぢばがえりひのきしんと男子例会(詰所)

☆ 1月18日(日) 茶道、三曲練習

☆ 1月22日(木) 前日準備ひのきしん

☆ 1月23日(金) 11時 春季大祭

☆ 1月26日(月) 11時30分 本部・教祖140年祭

☆ 1月29日(木) 18時 詰所祭

☆ **1月25日(日)16時～26日(月)**

みんなで詰所に宿泊して、おやさま140年祭に参拝しましょう!

☆ 人生とは、生涯かけての心の成人・自分づくり

☆ 信仰とは人生観・世界観をみがきつづけること

そのために、用意されているのが

・おぢばがえり ・基礎講座 ・別席 ・三日講習会 ・修養科 ・講習

○ 修養科をおすすめしましょう!(毎月、25日までに申し込み)

・若い方=これからの人生の基礎固めとして

・年配の方=人生の美しい集大成のために